

令和6年12月号

# 鹿浜こども園だより



## 足立区立鹿浜こども園

第一園舎 Tel.3855-4447

足立区鹿浜 5-25-11

第二園舎 Tel.3897-8515

足立区鹿浜 5-24-4-101

園長 守屋 久美子

## 鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ

やさしいところ

かんがえるちから

心豊かに たくましい

「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」

を育てる

## 【行事予定】

12月

5日(木)	劇場ごっこ⑤
9日(月)	個人面談始～12/20
11日(水)	もちつき④⑤
12日(木)	避難訓練
19日(木)	身体測定 安全指導
20日(金)	おたのしみの日
25日(水)	終業式④⑤
26日(木)	冬季休業日始(短)～1/7

※12/29(日)～1/3(金) 休園日

1月

7日(火)	冬季休業日終(短)
8日(水)	始業式④⑤ 獅子舞の日④⑤
9日(木)	安全指導
10日(金)	鏡開き④⑤
14日(火)	避難訓練
17日(金)	身体測定
23日(木)	保護者会③15:30～
29日(水)	保護者会②16:00～

5歳児が作った点数のついた的が部屋の中に貼ってありました。そこに空き箱を組み合わせ、輪ゴムをかけ、的に向かって狙いを定め飛ばして遊んでいる子がいました。「何やってるの?」と二人の友達が興味をもって見に来ました。しばらく見ていた二人はその場から離れ、空き箱のある所へ行き、どの箱にしようか互いに見せあいながら選んでいました。次に的あての所に戻ってきて、友達の遊んでいる様子をじっと見ていましたが、輪ゴムをかける細かい所まではわからず、「どうやって作ったの?」と見せてもらい、作り方を聞いていました。その後、二人で会話をしながら、切ったり貼ったりして作る過程が嬉しそうでした。完成すると、三人一緒に的あてで遊んでいました。

保育者の援助がなくても、友達同士で伝え合い、必要な材料を選び、イメージしたものを形にし、共通の目的をもった遊びを楽しむ姿がありました。

子どもたちがやってみたい遊びをするために、必要な素材や道具と出会い、繰り返し経験していく過程を大切にしながら援助していきます。

第一園舎 副園長 西井 知栄

### 《5歳児リクエスト給食》5日(木) 第一園舎

5歳児からのリクエストをもとに献立を考えました。

### 《冬のおたのしみ特別献立》20日(金) 第一・第二園舎

おたのしみの日の一環として、みんなでケーキを食べます。

### 教材費(4・5歳児)納入について

- ・12月分: 12月 3日(火) 1000円
- ・1月分: 1月15日(水) 1000円

集金袋は集金日より前にお渡しします。集金日に、記載されている金額を封入の上、園にお持ちください。

### 《劇場ごっこ(5歳児)》5日(木)

子どもたちが、日ごろの遊びを披露します。グループで協力し、一人一人が力を発揮している姿をご覧ください。詳細は学年だよりにてお知らせします。

### 《もちつき》11日(水) 4・5歳児

餅米からお餅ができるまで、地域の方や保護者の方々と一緒に、臼や杵に触れたり餅をついたりして、日本に伝わる餅つきを経験します。

### 《おたのしみの日》20日(金)

各クラスで歌を歌ったり、ゲームをしたりして楽しく過ごします。この日は、もしかしたらうれしいことが…。

おいしい特別献立とケーキを食べます。



### 〈ひよこ組〉

しっとりした緑色の葉っぱや枯れ葉を手に取り、指先を使ってちぎったり、踏んで音を楽しんだりしています。枯れ葉を握り「クシャ」と細かくすると、「フー」と息をかけて飛ばし、手のひらから落ちる葉っぱの様子を目で追っている姿も見られます。

握ると落ち葉の形が変わることやヒラヒラと動く様子、葉っぱの感触を味わいながら園庭にある植物に触れています。



ねらい

- 遊びの中で歩く、走る、登るなどの全身を使った遊びを楽しんでいます。

### 〈りす組〉

プラタナスの葉を手を持って走って風を感じてみたり、穴を開けてお面のようにしてみたりと様々な遊び方をしています。落ち葉をちぎって砂の上に乗せてご飯に見立てると、友達や保育者にご馳走をしてくれました。食べさせる真似をしたり、「ごちそうさまでした！」と嬉しそうに挨拶をしたりするなど、友達と関わりながら簡単なごっこ遊びを楽しんでいます。



ねらい

- 保育者に見守られながら、手洗い・衣服の着脱など、自分でできる喜びを感じられるようにしていきます。

### 〈うさぎ組〉

タイヤやマットを使って、友達と協力して空間を作り遊ぶことが増えてきました。「タイヤを重ねてみない?」「マットを屋根にしようよ!」「一人じゃ運べないから誰か手伝って!」と協力して作っています。出来上がった場所で店員やお客さんになりきって『お店屋さん』のイメージを共有しながら遊んでいます。秋の自然で作ったご飯やジュースがたくさん売られていました。



ねらい

- 友達と遊びを共有しながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。
- 遊びや生活の中で、自分の思いを言葉で伝える経験を積んでいけるようにします。

### 〈ぱんだ・こあら組〉

お店屋さんごっこや冒険ごっこなど、友達と一緒に遊んでいるなかで、必要なものを自分で作って遊びを楽しんでいます。本物の店員さんをイメージして、「帽子もつけてみたい。」と、帽子を作ってお店屋さんごっこをしたり、冒険中に「ワンちゃんがいたらもっと楽しいよね!」とイヌを作って園庭のいろいろなところを歩いたりして、ごっこ遊びが盛り上がりました。自分でイメージしたものを作ることや、作ったもので友達と一緒に遊ぶことの楽しさを味わっています。

集まってごはんを食べながら作戦会議中です!



お店の開店に向けて準備をしています!

ねらい

- 自分で作ったものを使って遊べるように、新しい素材を用意したり、道具の使い方を伝えたりしていきます。
- 思いを言葉にして伝えながら、気持ちが通じ合う喜びを感じたり、相手の思いに耳を傾けたりしていけるようにします。

### 〈ぞう・きりん組〉

しかはま劇場の人形劇団が演じた『スイミー』の世界観に魅了された子どもたちは、「劇場ごっこで、スイミーごっこをやりたい!」と早速、衣装作りを始めました。それぞれがやりたい役割を決め、同じ役割のグループごとに話し合いを進めています。自分の意見を主張したり、友達の意見を受け入れたりしながら、「素敵なおスイミーごっこにしたい!」という共通の目的に向かって力を合わせているところです。



このお芋の判子、魚の形みたい!



どんな衣装にする?

ねらい

- 共通の目的に向かって、友達と試行錯誤をしながら遊びや生活をすすめ、満足感や達成感を味わえるようにしていきます。
- 生活に見通しをもち、自分達でできることにすすんで取り組めるようにしていきます。